

(1) 令和5年度青森県事業実績

担当課	事業・業務名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	実績数値
鉄道対策課	青い森鉄道需要開拓・拡大事業	R6.2.22～R6.2.25	台湾	台湾鉄道との姉妹鉄道協定を契機とする、鉄道を通じた台湾との交流の一環として、台湾の鉄道ファンを招請し、県内の鉄道ファンとの交流の機会を設けるとともに、青い森鉄道に乗り込む体験をしてもらい、SNS等での発信・拡散による認知拡大を図った。	招請人数：2名
自然保護課	白神山地世界自然遺産登録30周年オープニングセレモニー開催	R5.7.17	大韓民国 (済州特別自治道)	白神山地世界自然遺産登録30周年のキックオフイベントとして、県、地元自治体、関係団体が一堂に会し、オープニングセレモニーを開催した。	2名 観光交流局長 文化財委員長
エネルギー開発振興課	国際核融合拠点環境整備事業	通年	欧州等	日欧協力により六ヶ所村で実施されている幅広いアプローチ(BA)活動に関係する外国人研究者等及びその家族を対象とした生活支援等を実施した。	六ヶ所村におけるBA活動関係の外国人26名
産業イノベーション推進課	青台連携新産業創出事業	通年	台湾	○県内中小企業等向けのセミナーを開催するとともに、県内事業者による現地訪問調査を実施した。 ○令和4年度に本事業で実施した大学生を対象としたビジネスプランコンテストにおいて最優秀賞を受賞したプランを商品化したほか、県産業技術センターにおいて台湾産果実等を活用したアルコール飲料の研究開発を行った。	・ビジネス創出セミナー参加企業数：25社 ・ビジネスプランコンテスト商品化数：3件 ・台湾産果実等を活用したアルコール飲料等試作件数：5件
産業イノベーション推進課	「あおりPG」台湾ビジネスマッチング業務	通年	台湾	「あおりPG」商品について、台湾企業と県内企業のマッチングを行い、台湾市場開拓・販路拡大等を支援した。	商談件数：6件
産業イノベーション推進課	「あおりPG」台湾PR業務	R5.11～R6.3	台湾	あおりPGについて、台湾ABCッキングスタジオと連携し、料理教室での商品PRやSNS等による情報発信を実施し、認知度向上を図った。	公式WEBサイト特設ページへの誘導数：32,605名
産業イノベーション推進課	ライブコマース等の活用による「あおりPG」販路開拓支援業務	R5.8～R6.3	台湾	台湾で活用されているライブコマース等を活用した「あおりPG」のテストマーケティング等を行い、新たな販路開拓を支援した。	テストマーケティング参加事業者数：6者
産業イノベーション推進課	デザイン等知財活用製品開発促進事業	通年	台湾ほか	海外知財専門家が県内企業を訪問し、海外展開予定国の商慣習や知的財産制度などについてアドバイスを実施した。	海外知財専門家 アドバイス支援件数等：19社
県産品販売・輸出促進課	大連経済交流企業サポート事業	通年	中国(大連市)	青森県大連ビジネスサポートセンターを通じて、情報収集するとともに、現地のイベント等に参加した。	・現地イベント等参加回数 4回
県産品販売・輸出促進課	韓国誘客対策事業(国際経済課実施分)	通年	韓国	韓国・ソウルで開催された食品見本市フードウィークに、北海道、秋田県及び岩手県と共同でブースを出展し、本県産品を食品バイヤーや一般消費者にPRするとともに、韓国の食品バイヤーを本県に招請し、県内企業との個別商談や産地視察を実施した。	・大規模見本市等出展回数 1回
県産品販売・輸出促進課	青森工芸品海外販路拡大推進事業	通年	フランス	フランス・パリで開催された世界最高峰のインテリア・デザイン見本市メゾン・エ・オブジェに県内事業者7者とともにブースを出展し、EUをはじめとした世界各国のバイヤー等に本県の伝統工芸品をPRした。出展にあたっては、専門家を本県に招請して県内事業者を個別に訪問し、海外向け商品のブラッシュアップを図った。	・国際見本市出展回数 1回
県産品販売・輸出促進課	香港輸出拡大ネクストステージ展開事業	通年	香港	令和4年8月の香港貿易発展局とのMOU締結を契機とし、アジア最大級の食品見本市に青森県ブースを出展し、県産品のPRを実施したほか、県内企業向けに香港市場情報等についてのセミナーを開催した。また、国内大手企業と連携し、現地ECサイトでの青森県フェアを行うとともにテストマーケティングを実施した。また、香港バイヤーを招請し、県内事業者との商談会を開催した。 ・青森県産米の小売販売強化のため、現地スーパーマーケットの店頭において、販売推進員が試食宣伝を行うとともにサンプル米及びびまんぐらPRリーフレットを配布しPRを行った。また、ラッピングバスによる広告宣伝や鉄道駅構内への広告掲出を実施した。	・食品ビジネス通年マッチング企業数 11社 ・招請商談会参加企業数 5社 ・スーパーマーケットでの試食宣伝 18店舗 延べ150日 ・バスの広告掲出 40台、3週間 ・鉄道駅構内への広告掲出 80パネル、2週間
県産品販売・輸出促進課	台湾食品ビジネス輸出拡大支援事業	通年	台湾	現地にビジネスネットワークを有するコーディネーターを通じて、ビジネスマッチング・フォローアップを年間実施した。 また、現地飲食店と連携し、青森県産食材を使用したメニューを提供する青森県フェアを開催した。その他には、県産水産品の認知度向上・販路拡大を目的に、台湾と青森県内の水産加工業者をWEBでつなぎ、県産水産品の魅力を発信する試食会を開催した。	・食品ビジネス通年マッチング企業数 17社 ・招請商談会参加企業数 13社
県産品販売・輸出促進課	香港との絆づくり・交流深化事業	通年	香港	令和4年8月の香港貿易発展局とのMOU締結を契機とし、香港最大のBtoC見本市に青森県ブースを出展し、ねぶたをはじめとする本県文化のPRを行うとともに、本県工芸品に関するウェブアンケートを実施し、調査・分析を行った。 また、本県工芸品に関心の高い企業等を香港から招請し、県内工芸品関連事業者との交流を促すツアーを実施した。これを契機として、現地飲食店と本県工芸品のコラボフェアの開催が実現した。	・展示会出展回数 1回 ・アート・工芸品関係者招請回数 2回 ・香港飲食店における工芸品とのコラボフェア 1回
県産品販売・輸出促進課	輸出拡大戦略推進事業	通年	シンガポール、インドネシア、マレーシア、ベトナム、フィリピン、カンボジア、インド、アメリカ、台湾、香港、カンボジア、インド	輸出相手国・地域の市場の状況に応じた輸出促進活動を展開し、県産農林水産品の輸出拡大を図った。 ・現地スーパーマーケット等における試食宣伝等(りんご、りんごジュース、ながいも、ホタテ) ・メディアを活用した情報発信(りんご) ・インド市場調査(りんご) ・日系飲食店と連携した青森県フェアの開催 ・日系飲食店のバイヤー招請 ・飲食店を対象とした県産米PR	・量販店等での試食宣伝 11回 ・飲食店でのフェア開催 1回 ・バイヤー招請 1回 ・飲食店を対象とした県産米PR 1回
県産品販売・輸出促進課	あおりビジネス海外展開推進事業	通年	台湾	県内ものづくり企業の台湾での現地調達・販路開拓等を目的に、台湾企業との現地商談会を開催した。また、海外ビジネス展開に関心のある県内企業を対象に、専門家のアドバイスを受けながら海外展開に向けたビジネスプランを作成した。	・ビジネスプラン作成企業数 2社 ・台湾現地商談会参加企業数 3社
県産品販売・輸出促進課	パートナー連携輸出拡大取組強化事業	通年	タイ、アメリカ、オーストラリア、カンボジア、シンガポール、ベトナム、香港	県産品の輸出拡大へ向け、現地スーパーマーケットやECサイトでの青森県フェアやシールドル試飲会、飲食店でのホタテ料理のテスト販売、ジュノハート及びゼネラル・レクラークのテストマーケティングを実施した。	・フェア開催 5回 ・シールドル試飲会 1回 ・ホタテ料理テスト販売 1回 ・テストマーケティング 2回
県産品販売・輸出促進課	青森りんご海外プロモーション強化事業	通年	台湾、タイ、インド	青森りんごの存在感を一層高め、更なる輸出拡大につなげるため、通年で安定した需要の確保に向け、輸出序盤からの販売促進強化を図ったほか、新規需要の開拓に取り組んだ。	・青森りんごPRイベント及びメディアを活用した情報発信 1国・地域(台湾) ・りんご流通・販売業者との意見交換会 1国・地域(台湾) ・店頭での試食宣伝 2国・地域(台湾、タイ) ・新規輸出先国の有望性調査 1国・地域(インド)
構造政策課	農業グローバル人材を育成する海外研修構築事業	R6.1～R6.2	台湾、韓国	農業のグローバル化に対応するため、農業を学ぶ高校生や学生を対象とした提案型海外研修の支援を行った。	4校(29名、うち引率8名)
構造政策課	あおり型農泊誘客拡大事業	通年	台湾、タイ、マレーシア	学校交流の受入態勢づくりに必要な交流プログラムを検証するため、台湾と本県の学校が、対面またはオンラインにより交流した。 また、海外からの教育旅行誘致のため、タイ、マレーシアにコーディネーターを配置し、体験プログラムをPRした。	・学校交流：2回 ・コーディネーター配置：2人、訪問先：14か所
構造政策課	農泊受入態勢強化事業	通年	台湾	台湾からの教育旅行誘致のため、台湾にコーディネーターを配置し、農家民泊を取り入れた教育旅行をPRした。	コーディネーター配置：1人、訪問先：8か所

担当課	事業・業務名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	実績数値
りんご果樹課	ウィズコロナ対応型輸出りんご供給体制強化事業	通年	台湾、ベトナム	青森りんごの輸出促進に向け、コロナ禍による物流遅延等を考慮した輸出りんごの供給体制強化とブランド力の向上のため、輸送環境等追跡調査や販売状況調査を実施した。 国際経済課と連携し、台湾行政機関との意見交換を実施した。	・台湾派遣:7名 ・ベトナム派遣:1名
りんご果樹課	輸出りんご信頼向上推進事業	通年	台湾、タイ、ベトナム、インド	各国の輸出検疫制度に産地が適切に対応するため、輸出検疫に係る説明会や研修会を開催した。 タイ向け選果こん包施設の適合証明書を発行した。 台湾向け選果こん包施設の巡回指導、台湾及びインド検査官査察、ベトナム向け圃地検査等へ対応した。	・説明会等:台湾2回、ベトナム1回、インド1回、タイ1回 ・査察対応:台湾1回、インド1回 ・タイ適合証明:6件
誘客交流課	三沢基地内大学県民就学推進事業	通年	アメリカ	三沢市への業務委託により、三沢基地内大学への県民就学推進を図った。	メリーランド大学入学者:10名
誘客交流課	国際交流員招致事業	通年	韓国 アメリカ	県が友好協定を締結している国から国際交流員を招致し、当該国際交流推進事業等に従事した。	2名
誘客交流課	外国人観光客誘客体制強化事業	通年	台湾	県が友好協定を締結している地域から国際交流員を招致し、当該国際交流推進事業等に従事した。	1名
誘客交流課	外国青年招致事業	通年	57か国	総務省、外務省文科省及びCLAIRの協力のもと実施される「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」にて、県内へCIR、ALTを招致する取りまとめを行った。	167名
誘客交流課	済州・台湾友好交流基盤強化事業	通年	韓国(済州)	済州特別自治道との協定締結10周年に向けて、コロナ禍で停滞した友好交流ネットワーク基盤の回復・強化を図ることで、交流の裾野を拡大し、県民の国際理解の推進と相互地域の発展につなげる。	・メディア招請 2件(済州放送、漢拏日報) ・タムナ文化祭へ伝統芸能団体を派遣 1回 ・日韓交流おまつりinソウルへブース出展 1回 ・知事をトップとする代表団による済州特別自治道への訪問 1回
誘客交流課	済州・台湾友好交流推進事業(台湾関係)	通年	台湾(台中市)	台中市との協定締結10周年に向けて、友好交流ネットワーク基盤の強化を図ることで、交流の裾野を拡大し、県民の国際理解の推進と相互地域の発展につなげる。	・台中市政府招請 1回 ・台中市温泉まつり参加 1回 ・台中市ランタンフェスティバル参加 1回
誘客交流課	済州・台湾友好交流推進事業(台湾関係)	通年	台湾(台南市)	台南市との協定締結10周年に向けて、友好交流ネットワーク基盤の強化を図ることで、交流の裾野を拡大し、県民の国際理解の推進と相互地域の発展につなげる。	・ランタンフェスティバル参加 1回
学校教育課	語学指導を行う外国青年招致事業	通年	アメリカ、イギリス、ロシア	中学校・高等学校等における外国語指導・教材作成など、本県における外国語教育の充実に資するよう、外国青年を招致した。	招致28名
学校教育課	済州国際青少年フォーラム派遣事業	R5.10.30～R5.11.5	大韓民国(済州特別自治道)	大韓民国の済州島で開催された国際青少年フォーラムに県立高校から応募のあった4名の生徒と教員1名、事務局1名が参加し、国際社会の諸問題に関して英語によるディスカッションやプレゼンテーションを行った。	参加6名
学校教育課	青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業	R6.1.7～R6.1.11	台湾	県立高校から応募のあった生徒40名と教員5名、事務局1名が台湾桃園市にある国際バカロレア認定校大園国際中等教育学校にて協働学習プログラムに参加した。	参加46名
学校教育課	青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業	R5.5～R6.3	台湾	台北市の高校と覚書を締結した5校がそれぞれの締結校を訪問し、現地での交流活動に取り組んだ。その内、弘前工業高校、青森商業高校、五所川原高校の3校は、締結校の生徒の受入も行った。また、覚書を締結した5校に加え、交流を希望した3校において、オンラインでの交流活動を実施した。	8校
学校教育課	青森県高校生国際交流促進事業	R5.8～R5.9	モンゴル、シンガポール	県内の学校で応募のあった八戸工業高等専門学校の生徒がグローバル・コンピテンシーを涵養することを目的とし、モンゴル、シンガポールでの探究学習に取り組んだ。	10名